

「県民協働による事業改善」 点検結果と対応状況

事業番号	C - 2	担当部課名	企画振興部交通政策課
------	-------	-------	------------

事業名	空港管理費
-----	-------

1. 点検結果集計

(単位:人)

区分	(1)行政が実施する 必要「無し」	(2)国・市町村での 実施が望ましい	事業規模、内容・方法を見直す必要「有り」			(6)「現行どおり」 事業を継続
			(3)事業規模を 「拡大(増加)」	(4)事業規模を 「縮小(減少)」	(5)事業規模は 「現状維持」	
県政 モニター	1	1	1	1	2	6
有識者			1	1	3	

2. 点検シートの内容等と対応状況

点検シートの内容等	県としての考え方・対応方針
【現行どおり事業を継続】 ・利用者増を目指すならば、維持管理だけでなく、将来的には拡充を考えてもよいのではないか。 ・災害時の機能強化に取り組んでほしい。	・空港利用者の増加に向け、空港の拡充についても検討し、来年度には、県としての「路線拡充と空港機能強化に向けた方針」を明確にします。 ・現在、消防防災・県警ヘリ等が発着する小型機用エプロンの機能強化工事を実施しています。引き続き、災害時等においても十分な役割が果たせるよう、空港の機能強化に取り組みます。
【事業の必要性(ニーズ)が低下している】 ・新幹線とリニア等の充実と県内の北信(長野市)と南信(飯田市)との交通網(鉄道)の充実が必要。	・本県における高速交通ネットワークの形成に向け、北陸新幹線、リニア中央新幹線、道路網等の整備促進とともに、空港機能の充実に取り組みます。
【広報(PR)の工夫・充実】 ・「防災や緊急時の安全性」という内容も県民にPRしてほしい。 【地域やコミュニティの参加や連携の強化 1】	・ホームページをはじめとした様々な広報媒体を活用し、空港が果たす多様な役割について、県民に対して積極的に情報を発信します。 ・空港フェスティバル等イベントへの地域参加を進めるなどし、地域の理解を得ながら、地域と連携した空港の管理運営に努めます。
【国・市町村での実施が望ましい】 【その他】 ・維持主体を見直す法改正を望みたい。 ・行きたくなる空港を目指すためにも安全快適な管理のために費用を充ててほしい。 ・自身の背丈に応じた事業を、身分相応の予算で行うべき。 ・施設設備の長期修繕計画からみるとやや縮小しているか。 ・緊急時利用可能な空港を確保する予算組みが必要。 ・適切な維持管理により、空港の安全性が確保されていることを示す評価指標が必要。 ・松本空港は不便というイメージがある。	・今後とも、真に必要な維持管理経費、施設整備費用に対する適切な予算措置を徹底するとともに、昨年施行された「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律」も踏まえ、空港管理の効率化、空港の活性化等について幅広く研究します。 ・空港の維持管理上の実態を反映することが可能となる評価指標について検討し、適切な成果目標を設定します。 ・信州まつもと空港をより使い易い空港とするため、空港機能の充実と併せ、就航路線の拡充や空港へのアクセスの確保など、利便性の向上に取り組みます。

3. 平成27年度当初予算要求での対応

○施設等の計画的な更新や機能強化が概ね平成26年度末までに完了することから予算要求額が減額となりますが、引き続き安全・安心な空港管理に努めます。

(単位:千円)

	H27当初要求額	H26当初予算額	増減(H27-H26)	[主な増減内容]
事業費(A)	197,514	465,463	△ 267,949	・信州まつもと空港路線拡充調査 検討事業 6,322千円
うち一般財源	188,227	173,783	14,444	・北エプロン舗装改修工事 △80,000千円
概算人件費(B)	66,064	66,064	0	・化学消防車、地上支援機材、 搭乗橋の更新 △202,749千円
概算事業費(A+B)	263,578	531,527	△ 267,949	